

民主党モンゴル公式訪問団 報告書

(民主党第333回常任幹事会承認)



2005年5月4日(水)～9日(月)

民主党政策調査会

民主党モンゴル公式訪問団構成

団 長 枝野 幸男 衆議院議員
 団 員 福山 哲郎 参議院議員
 " 西村 智奈美 衆議院議員

事務局 天笠 義和 民主党政策調査会事務局・環境政策担当

現地対応 バルスボルド モンゴル自然環境大臣
 " 高見 裕一 モンゴル自然環境大臣特別顧問・モンゴル国立人文大学理事長
 " 河野 浩三 グリーン・マーケティング協会事務局長
 同行通訳 P.Naranbayar、Enkhtuvshin Dorjpalam、Oyunchuluun Tulga、Minjin Sainbileg

訪問日程

訪問日 5月4日(水)～9日(月)

日 時	日 程
<u>5月4日(水)</u>	
13:00	Japan 新東京国際空港(成田空港)発 [MO-502 便]
19:00	Mongolia ウランバートル(ボヤント・オハー)国際空港着 バルスボルド自然環境大臣出迎え (於: ウランバートル空港貴賓室) (宿泊) コンチネンタルホテル
<u>5月5日(木)</u>	
10:30	打合せ
11:00～	バルスボルド自然環境大臣との会談 (於: コンチネンタルホテル)
12:00～	インフデン人民革命党事務局長との昼食懇談会 (於: モダンノーマツ)
14:00～	オトンバヤル人民革命党事務局長との会談 (於: 人民革命党本部)
15:00～	バガバンディ大統領との会談 (於: 政府庁舎)
16:15～	グンガードルジ元総理・元北朝鮮大使との会談 (於: モンゴル自然環境省)
17:30～	フレルバートル外務省アジア局長との会談 (於: モンゴル外務省)
19:30～	当田達夫モンゴル国駐割特命全権大使主催レセプション (於: 日本大使公邸) (宿泊) コンチネンタルホテル

<u>5月6日(金)</u>	
10:30	打合せ、コンチネンタルホテル発
11:00～	エルベグドルジ総理大臣との会談（於：政府庁舎）
12:00～	ザイサン丘視察
12:30～	バルスボルド自然環境大臣主催昼食懇談会（於：イフテングル迎賓館）
14:30～	人民革命党青年部との意見交換会
16:30～	国立人文大学で講演（於：国立人文大学新校舎大講堂）
19:00～	人民革命党主催レセプション（於：第30迎賓館）
21:00～	NGOとの意見交換会 （宿泊）コンチネンタルホテル
<u>5月7日(土)</u>	
10:00	打合せ、コンチネンタルホテル発
12:00～	バルスボルド自然環境大臣と共にテレルジ国立公園内を視察 （宿泊）ボグド山ゲルキャンプホテル
<u>5月8日(日)</u>	
10:30	打合せ、ボグド山ゲルキャンプホテル発
12:30～	エンフバヤル国会議長との会談（於：イフテングル迎賓館）
13:30～	バルスボルド環境大臣主催昼食懇談会（於：エリート迎賓館）
16:30～	植林現場視察、ゲル設営レクチャー（於：首都ウランバートル市郊外）
17:30～	貧困層生活区域を視察（於：首都ウランバートル市郊外）
19:00～	バルスボルド自然環境大臣主催民主党モンゴル公式訪問団送迎会 （宿泊）コンチネンタルホテル
<u>5月9日(月)</u>	
07:00	打合せ、コンチネンタルホテル発
09:30	Mongolia ウランバートル(ボヤント・オハー)国際空港発 [MO-501 便]
12:30	South Korea ^{仁川} 国際空港経由
16:00	Japan 新東京国際空港(成田空港)着、解散

視察報告

来年、モンゴルは建国 800 周年を迎える。それに先立ち、バルスボルド自然環境大臣の招待で今回の公式訪問が実現した。民主党モンゴル訪問団は、4 月 26 日に開催された民主党第 333 回常任幹事会で正式に承認された。これまでも非公式には様々な訪問が行われているものの、民主党としての公式訪問団の派遣は、2002 年 8 月に続き今回が結党以来 2 回目となる。

モンゴルはこの間、急激な市場化により経済成長を遂げており、それに伴って貧富の格差が少しずつ拡大している。同時に環境問題に関しても深刻な状況になりつつある。1990 年に社会主義経済から資本主義経済へ無血で移行したことは記憶に新しいが、社会基盤整備をはじめまだ未発展な部分が多い。また、日本をはじめ他の国々でも見られることだが、モンゴル国全体の人口およそ 250 万人のうち、首都ウランバートルに 100 万人近くの人口が集中しており、その中で様々な弊害が出てきていることも否定できない。

今回の訪問では、バガバンディ大統領、エルベグドルジ総理大臣、エンフバヤル国会議長らとの会談を行う一方、植林現場、テレルジ国立公園、貧困層生活区域の視察、NGO との意見交換、そして国立人文大学で講演するなど、学生や市民との交流も積極的に行ってきた。

植林に対する寄付や、人道支援を行っている NGO への寄付は、訪問団（枝野、福山、西村の 3 名）が自費で、植林、人道支援に対してそれぞれ 1000 ドル、計 2000 ドルの寄付を行い、現地からは大いに歓迎された。今回、民主党としての公式な支援ができなかったことは非常に残念だが、今後、モンゴルと民主党の関係を強化する上でも、定期的な支援ができるよう党内の理解を引き続き求めていきたい。

現地に足を踏み入れると誰もが気づくことだが、モンゴル人の多くは非常に親日的である。また、一度訪問した人、世話になった人を極めて大切にしている習慣があり、日本からの多額の ODA についても多くの国民が理解を示し感謝してくれている。反日的な国の国民の理解を求めていくことはもちろん必要なことだが、既に親日的な感情を持っている国との関係をより強化することも、政権準備政党である民主党には必要なことではないだろうか。

現在、モンゴルでは大統領選挙（5 月 22 日投票）が行われており、任期満了で退任するバガバンディ大統領に代わり、新たな指導者が決まろうとしている。そのような時期にも関わらず、大統領、総理大臣、国会議長らとの交流が実現したことの意義は非常に大きい。日本とモンゴルの関係強化にとって極めて重要なことだと言える。今回の訪問が、今日、明日の民主党のメリットとなるわけではないが、5 年後、10 年後につながる民主党の財産の一つになったものと確信する。今後も定期的にモンゴルを訪問し、要人や市民と積極的に交流し、これからの新たなアジア外交を築いていきたい。そして、今回の訪問が今後の民主党とモンゴルとの関係強化に一石を投じることとなれば幸いである。

民主党モンゴル公式訪問団

枝野 幸男

福山 哲郎

西村智奈美

バルスボルト自然環境大臣との会談

5月5日(木) 11:00～ 於: コンチネンタルホテル

民主党モンゴル公式訪問団は5日午前、首都ウランバートルで、バルスボルト自然環境大臣と会談し、日本と中国との関係、モンゴルにおける鉱山の開発、経済協力のあり方などについて会談が行われた。

この中でバルスボルト大臣は、日本人はリスクを気にしすぎるとし、もっと積極的にモンゴルに参入してくるよう強く求めた。



インフデン人民革命党幹事長との昼食懇談会

5月5日(木) 12:00～ 於: モダンノーマツ



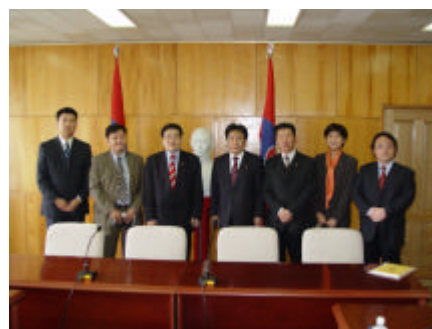
5日正午、インフデン人民革命党事務局長との意見交換を行った。この中で枝野議員は、「これまで相撲をはじめとする民間レベルの交流が進んでいるのに対して、政治レベルでの交流が必ずしも緊密ではなかった」と述べ、政治レベルでも情報や考え方を共有し合い、日本とモンゴルの両国、そして東アジア安定のために共に仕事をしていきたいと述べた。これに対して、インフデン人民革命党事務局長は、「モンゴルは広い土地を持っているが経済的には発展途上だ。日本の先進技術等を積極的に導入していきたい」と述べ、日本とも積極的に交流していきたいとした。

オトンバヤル人民革命党事務局長との会談

5月5日(木) 14:00～ 於: 人民革命党本部

5日午後、民主党モンゴル訪問団は、モンゴル人民革命党本部を訪れ、オトンバヤル人民革命党事務局長と会談した。

この中で、オトンバヤル事務局長は、「民主党側からは、泉健太、寺田学、本多平直、村越祐民議員ら若い衆議院議員がモンゴルを訪れており、交流が恒常化してきている。このような個人的な良い関係をつくることは非常に大切なことであると思う」と述べ、今後も両党の関係を未永く続けていく必要があると述べた。



バガバンディ大統領との会談（取材可 頭撮りのみ）

5月5日(木) 15:00～ 於: モンゴル政府庁舎

5日午後、枝野議員、福山議員、西村議員の公式訪問団の3名は、モンゴルを訪れていた中川正春衆議院議員、渡辺周衆議院議員らと合流して政府庁舎を訪ね、バガバンディ大統領と会談を行った。

会談の中で枝野議員は、「得意な部分と苦手な部分とを補い合えば相互により良い関係がつけられる」と述べ、日本とモンゴルが良い関係をつくっていけるよう努力したいとした。これに対してバガバンディ大統領は、「総合的パートナーシップを発展させる」と述べ、2003年12月の共同声明にモンゴルの考えは変わりはないとした。

グンガドルジ元総理 元北朝鮮大使との会談

5月5日(木) 16:15～ 於: モンゴル自然環境省



民主党モンゴル訪問団と、北朝鮮問題を調査するためモンゴルを訪れていた中川正春衆議院議員、渡辺周衆議院議員は、5日午後、モンゴル自然環境省において、グンガドルジ元総理・元北朝鮮大使との会談が行われた。

冒頭、枝野議員は、「モンゴルの皆さんとの人間関係をさらに深め、政治的にもさらに密接な関係を作っていきたいと思う」と述べ、特に日本にとって気がかりな課題である北朝鮮問題を中心に議論がなされた。

フレリバートル 外務省アジア局長との会談

5月5日(木) 17:30～ 於: モンゴル外務省

5日午後、民主党モンゴル訪問団と、中川正春衆議院議員、渡辺周衆議院議員らとともにモンゴル外務省を訪れ、日本とモンゴルの外交問題を中心に積極的な意見交換が行われた。



当田達夫モンゴル国駐割特命全権大使主催レセプション

5月5日(木) 19:30～ 於: 在モンゴル日本大使公邸



当田達夫モンゴル国駐割特命全権大使の招待で大使公邸でレセプションが開催された。レセプションには、枝野幸男衆議院議員、福山哲郎参議院議員、西村智奈美衆議院議員、中川正春衆議院議員、渡辺周衆議院議員のほか、モンゴルの政治関係者や弁護士らが招待され、様々な意見交換が行われた。

エルベグドルジ総理大臣との会談（取材可 頑撮りのみ）

5月6日(金) 11:00～ 於: モンゴル政府庁舎

6日午前、民主党モンゴル訪問団は政府庁舎を訪れ、エルベグドルジ総理大臣との会談を行った。

この中で枝野議員は、「バルスボルド大臣からグリーンベルト構想を聞かせていただいた。黄砂は日本にも飛んでくるものだ。日本でもこれが成功することに向けて協力できることについて前向きに検討したい」と述べた。これに対して、エルベグドルジ首相は、「私は訪日を予定している。訪日の大きな目的の一つはグリーンベルト構想だ」とし、バルスボルド自然環境大臣とともに訪日し、グリーンベルト構想について積極的に議論していきたいと述べた。



ザイサン丘を視察

5月6日(金) 12:00～ 於: ザイサン丘



バルスボルド自然環境大臣の案内で、首都ウランバートルが一望できるザイサン丘から市全体を視察した。ここから見ると、ウランバートル市中心部は非常に発展しており、ビル等の建設も進んでいるが、少し郊外を見ると、ゲル村が多数存在しているのが確認できた。

人民革命党青年部との意見交換会

5月6日(金) 14:30～ 於: モンゴル人民革命党本部



6日午後、民主党モンゴル公式訪問団は、人民革命党本部を訪れ、同党青年部との意見交換を行った。会議室には30名程の党員が集まり、その中には日本に興味のある若い学生らも数多く参加していた。この中で枝野議員は、日本とモンゴルがお互いに一番信頼できる、助け合える仲間でありたいと述べ、日本とモンゴルの交流を今以上に進めるべきだと語った。福山議員は、バルスボルド自然環境大臣が3年前に来日し、モンゴルの干ばつの状況をお話いただいたのが全ての出発点だと述べ、大臣の功績を高く評価した。西村議員は、新潟中越地震の際、モンゴルから毛布や義援金が送られたことについて触れ、国際関係は国と国との関係だけでなく、個人と個人の関係の積み重ねの上にあるものだと述べ、感謝の意を示した。

国立人文大学で講演（取材可・フルオープン）

5月6日(金) 16:30～ 於: モンゴル国立人文大学新校舎大講堂

6日午後、モンゴル人文大学の高見裕一理事長、Chuluundorj 学長、バルスボルド自然環境大臣同席の下、モンゴル国立人文大学大講堂にて300名余の学生に対して講演を行った。同大学は学生の7割近くが女性ということもあり、当日の出席者も女性の割合が高かった。冒頭、高見裕一理事長が「直接、日本の国会議員に疑問、希望を伝えてもらいたい」と挨拶した後、枝野議員、西村議員、福山議員がそれぞれ10分程度の講演を行った。



講演の中で枝野議員は、日本とモンゴルとの関係がいかに重要かという点について触れ、「日本には一定の資本はあるが国土は狭く資源がほとんどない。しかし、モンゴルには広い国土や多くの資源がある。お互いが足りないものを補い合おうことによってお互いが幸せになれる関係を持っている国が日本とモンゴルだ」と述べ、建設的な友好関係を深めていきたいと語った。福山議員は、3年前のモンゴルの干ばつの状況について触れ、「バルスボルド自然環境大臣が来日し、政府や私たち民主党にモンゴルの干ばつの状況を訴えた。その強い思いが私たちを動かし交流が始まった」と述べ、一人でもできることは沢山あり、皆さんが将来の日本とモンゴルの関係をつくっていく主役であると語った。西村議員は、新潟中越地震でモンゴルから毛布や義援金が届けられたことについて触れ、「モンゴルの若い皆さんが自発的に行った行動だと聞いた。新潟県民を代表して心からお礼を申し上げたい」と述べた。さらに、「黄砂をはじめ様々な問題を克服するために私たちは国境を越えて顔と顔が見える関係を作っていくことが大切だ」と訴えた。

人民革命党主催レセプション

5月6日(金) 19:00～ 於: 第30迎賓館

人民革命党の下にある赤いバラ発展クラブを中心に、第30迎賓館でレセプションが行われた。

冒頭、枝野幸男衆議院議員が挨拶し「これまでも大臣とは個人的にも親しくしていただき、私たち相互の関係が深くなればと考えている。また、モンゴルと日本はお互いの足りない部分を補うと大変な力を発揮できる。それは、モンゴル人民革命党と日本の民主党の間にも言えることだ」と述べた。その後、会は終始和やかなムードで行われ、忌憚のない意見交換が行われた。



NGOとの意見交換会

5月6日(金) 21:00～ 於: ウランバートル



西村智奈美衆議院議員はウランバートル市内のレストランで、ストリートチルドレンなどを救済する活動を行っているツヴェン氏や、日本に留学経験のあるモンゴル人女性らとの意見交換を行った。この中で西村議員は、モンゴルで増加しているストリートチルドレンの現状などについて意見交換を行い、今後どのような対応をしていくべきなのかについて議論した。西村議員は、ベトナムには2万～3万人のストリートチルドレンが存在することを紹介するなど、具体的な意見交換が行われた。また西村議員は、「ツヴェンさんにはモンゴルのストリートチルドレンの母になってもらいたい」とツヴェン氏の活動を激励するとともに、「日本に帰って仲間と相談し、より大きな支援ができるような体制をつくっていきたい」と述べた。

テレルジ国立公園を視察（取材可 ぶら下がり有り）

5月7日(土) 12:00～ 於: テレルジ国立公園

バルスポルド自然環境大臣の案内で、ウランバートル市内から車で約1時間半の場所にあるテレルジ国立公園を訪れた。公園内の移動は車と馬を使って行き、限られた時間ではあったが公園内の一部をまわり、公園内を流れるテレルジ川や生態系の状況、野生生物をはじめ、多くの動植物などを視察した。また、環境大臣らと共に公園内のゲルで昼食をとりながら、国立公園の現状や、環境問題全般についての意見交換を行った。



エンフバヤル国会議長 (大統領候補者)との会談

5月8日(日) 12:30～ 於: イフテングル迎賓館

8日正午、民主党モンゴル訪問団は、イフテングル迎賓館を訪れ、エンフバヤル国会議長と会談した。エンフバヤル国会議長は大統領選挙(5月22日投票)に立候補しており、非常に多忙な中、訪問団のために時間を割いてくれた。

この中で枝野議員は、「グリーンベルト構想をはじめとして、民主党として、日本として協力できることを議論していきたい」と述べ、日本とモンゴルの連携を深めていきたいとした。



植林現場視察、ゲル設営レクチャー

5月8日(日) 16:30～ 於: 首都ウランバートル郊外



ウランバートル郊外にある植林現場を訪れ、担当者から説明を受けた。湿気の少ない気象条件等もあり木の成長が遅いため、植林しても成長するまでには時間がかかることが実感できた。

植林現場を視察した後、ゲル設営のレクチャーを現地の方々数名から受けた。近年、モンゴルでもゲルで生活する人が減ってきているため、ゲルを組み立てられる人が少なくなっているとのこと。ちなみに、慣れた人が数人で組み立てると1時間もかからずに組み立てられる。

貧困層生活区域を視察

5月8日(日) 17:30～ 於: 首都ウランバートル郊外

ストリートチルドレンなどの救済活動を行っているツヴェン氏の案内で、ウランバートル郊外のゲル村を視察した。

枝野、福山両議員は「3年前に訪れた時よりも生活水準は改善しているようだ」と述べ、今でも厳しい生活であることには変わりないが、それでも貧困層の生活は以前よりも良くなっているのではないかと語った。

視察を終えた枝野、福山、西村議員の3名は、ツヴェン氏の団体に自費で1000ドルの寄付を行った。これに対してツヴェン氏は、「いただいた寄付の用途はホームページ等でお知らせしたい」と述べた。

